

これからのひきこもり支援の方向を模索する

—当事者の理解、支援者の思い、地域における取り組み—

オンライン視聴期間：2020年12月5日（土）0時～12月12日（土）24時

昨年の合同企画のご案内でも触れましたが、ひきこもり状態にある人は、従来指摘されていた青年層だけでなく中高年層に渡っていることは、ここ数年の KHJ 全国ひきこもり家族会連合会の調査や内閣府の調査、

各自治体の調査でも明らかになっています。いわゆる 8050 問題に現れているように、高齢の親が中高年のひきこもる子どもの生活を支えている中で多くの困難が生じていることも明らかになってきました。ひきこもり支援のための社会的手立ては、ここ 1、2 年改善の動きがあるもののまだその具体的成果が十分見える段階には来ていないようです。また、中高年層のひきこもる人の支援は、まだ十分解明されておらず、支援現場で悩んだり苦勞している現状もあります。ひきこもる人がいる家族や本人の支援の内容も深く検討し改善し、またその支援を担う公民の支援者（ピアサポーターを含む）を確保する必要があります。この時期にひきこもりという課題を今一度振り返りその意味することや支援の基本的な考え方を再検討し整理する必要があると思います。

そこで 2020 年の合同企画講演会では、外から招く講師と私たちの地域の現場での実践に取り組んでいく講師による講演会を開催したいと思います。

長谷川俊雄氏は最近の論文「ひきこもり支援の難しさ」において、ひきこもり支援のゴールをめぐる混乱を指摘し、「ゴールはひきこもり当事者が自己決定、あるいは信頼できる他者と共同決定すべきことである」と述べています。このような考え方をさらに詳しく講演していただく予定です。また、**石川良子氏**は、最近の論文「ままならなさと共に生きる」において、「当事者達は社会参加の有無だけではとらえきれない何かに苦悩しており、その何かをつかまえることこそ、当事者にとって『ひきこもり』がどういう経験なのかを明らかにすることにつながるはずです。」と述べています。このような考え方をさらに詳しく講演していただく予定です。また愛知県の現場からは、**河村康英氏**に知多市社会福祉協議会の日々の実践を通し、その到達点や課題などを整理して講演していただきます。

演題・講師

1. ひきこもり支援の難しさ—当事者理解と支援のゴールとは—
長谷川俊雄氏（白梅学園大学子ども学部教授）
2. ままならなさと共に生きる—当事者にとって「ひきこもり」とはどういう経験なのか—
石川良子氏（松山大学人文学部教授）
3. 知多市社会福祉協議会のこれまでのひきこもり支援から感じること—当事者・家族・支援者らが「ぶつかり合い折り合いをつける地域づくり」の必要性—
河村康英氏（愛知県知多市社会福祉協議会）

*** 今回の講演会は、新型コロナウイルス感染拡大が心配される状況下でのオンライン開催です。**そのためこれまでの実施形態とは大幅に異なる開催形態になります。皆様には大変ご不便をおかけいたしますがどうかご理解ご協力をお願いいたします。具体的には裏面の「**オンライン講演会開催の概要と申し込み方法**」を参照して下さい。



オンライン講演会開催の概要とお申し込み方法

オンライン講演会での開催は初めての試みです。申し込み方法とその仕組みは以下の通りです。

1 開催事務局：日本福祉大学心理臨床研究センター

住所：名古屋市中区千代田5丁目2番35号

メールによるお問い合わせ：shinri-kouza@ml.n-fukushi.ac.jp

企画に関するお問い合わせは次にお願いたします。

NPO 法人なでしこの会（フレンドシップなでしこ）

電話 052-882-1119（火・水・金 13:00～16:00）

メール space-friendship@chorus.ocn.ne.jp



2 参加（視聴）申し込みの方法と締切期日 ゲ-グ-ルフォーム QR コード →

①参加申し込み

○ 参加（視聴）申込先メール：ゲ-グ-ルフォーム <https://forms.gle/6ghG9hyJkapvjzkzj7>

○ 参加（視聴）登録情報：住所、氏名、電話番号、所属（差し支えなければ）および
参加（視聴）申し込み者のメールアドレス（必須）

○ 参加（視聴）申し込み締め切り：11月23日（月：勤労感謝の日）

②参加費は無料です。

③参加者は、メール送受信が可能で、YouTube が視聴できる PC（タブレット、スマホ）や通信環境が必要です。

④登録いただいた個人情報は、合同企画の運営管理および日本福祉大学心理臨床相談室・知多市社会福祉協議会・NPO 法人なでしこの会が実施する各種講座などのご案内に利用させていただくことがあります。その他の目的には一切利用いたしません。

3 開催概要のご案内とお願い

①事前に講師と主催3者による Zoom ミーティングを開催し録画します。録画当日は、講演と事務局（数人程度）による質疑応答を行い録画します。

②参加（視聴）申込者には、参加（視聴）申込者のメールアドレス宛に、当企画視聴専用の YouTube アドレスを、視聴期間前にお届けします。

③視聴はすべて YouTube 配信となりますので、放送日（12/5-12/12）での質問は出来ません。アンケートにご感想をお書きください。アンケートは②の事前案内の時にお知らせいたします。

④当日の資料につきましては、参加者において各自ダウンロードをお願いいたします。アンケート同様②のご案内時にダウンロードサイト（URL）をお知らせいたします。

⑤数人程度のグループを形成し視聴することもあると思いますが、その場合、視聴会を各グループにおいて自主的に開催・運営してください。なお団体によってはその団体の月例会などを視聴会に充てることもあります。具体的なことは、それぞれの団体の事務局にお問い合わせください。

⑥講演会全体の所要時間は、講演・質疑応答等を含めて、およそ2時間40分です。**YouTube 配信のため途中随時休憩を入れながら全体を視聴することが可能です。**

プログラム（講師・演題・時間配分）

開会挨拶

○長谷川俊雄氏（白梅学園大学子ども学部教授、NPO 法人つながる会代表理事、認定 NPO 法人
フリースペースたまりば 副理事長） - 40 分 -

（演題）ひきこもり支援の難しさー当事者理解と支援のゴールとはー

○石川良子氏（松山大学人文学部教授） - 40 分 -

（演題）ままたらなさと共に生きるー当事者にとって「ひきこもり」とはどういう経験なのかー

○河村康英氏（愛知県知多市社会福祉協議会） - 30 分 -

（演題）知多市社会福祉協議会のこれまでのひきこもり支援から感じること

ー当事者・家族・支援者らが「ぶつかり合い折り合いをつける地域づくり」の必要性ー

○質疑応答 全体を振り返り講師と主催3者による質疑応答 - 20 分～30 分 -

閉会挨拶